

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	企業等におけるワーク・ライフ・バランス推進の支援						掲載ページ		
							32		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	総務企画局
		13,064 「ワーク・ライフ・バランス推進事業」費総額。本事業はその一部	千円	14,346 「ワーク・ライフ・バランス推進事業」費総額。本事業はその一部	千円	施策名	働き方の見直し	担当課	女性活躍推進課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	誰もが多様な働き方や生き方が選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、企業、働く人、市民、行政で構成された「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた企業等の取組支援や啓発事業等を行います。また、就労を希望する女性を支援するため、就労相談や就業支援講座を行います。		活動実績	企業やその従業員がワーク・ライフ・バランスに取組むためのきっかけづくりとしてもらうため、企業のニーズに応じたテーマで、出前セミナーを実施しました。（実施企業数 8社）		
活動計画	子育て支援や男女がともに働きやすい職場環境づくりに取り組む企業等の表彰、企業向け講演会の開催や、アドバイザー派遣などによる企業等に対する働きかけを行うとともに、従業員向け広報啓発や、男性の育児参画についてのシンポジウム開催などによる個人（家庭）に対する働きかけを行います。あわせてワーク・ライフ・バランス推進キャンペーンの実施など広報啓発事業を行います。また、女性の就業支援講座を開催します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰受賞者（累計）	45 社（人）	50 社（人）	50 社（人）	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる企業等を表彰し、事例集等で広く紹介することが、企業等における取り組みの支援・促進につながると考え、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）－			100.0 %			
	ムーブ及びレディスでの女性向け就業支援講座参加者数	8,950 人	同程度	8,139 人	順調 やや遅れ	順調	
男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディスにおいて就業支援講座を開催することが、就労継続・再就職等をを目指す女性の支援につながると考え、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）－	90.4 %			遅れ			

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を開催して、各構成機関で情報を共有しました。11月の推進キャンペーンでは、企業向け講演会や「ワーク・ライフ・バランス新聞」の市内事業所への配付、街頭啓発を行うなど、活動状況は概ね予定どおりに進みました。また、夏休み期間を中心に「子ども参観日」の実施を市内企業・事業所に呼びかけ、子育てしながら働きやすい職場環境づくりに努めました。ムーブ及びレディスが開催している女性向け就業支援講座については、平成25年度に開催した他団体との共催イベントがなかったことから、全体の参加者数は減少していますが、主催の講座数及び参加者数は概ね昨年と同程度であったことから、順調としました。一方、ワーク・ライフ・バランスという「言葉」は市民に浸透してきましたが、仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合は27.4%となっており、実践活動を通して成果実現を図っていく必要があります。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	行政が単独で実施するのではなく、「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心として、企業、働く人、市民、行政が連携・協働して取り組むことにより、効率的かつ経済的にそれぞれの立場から、地域や個人（家庭）、企業等に直接働きかけています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心として、様々な企業・団体等と一層連携を深め、より多くの企業等や働く人に直接働きかけていくことで「実践」を通じた成果実現につなげていきます。また、就労を希望する女性を支援するため、引き続きムーブ、レディスでの就労相談や就業支援講座等を実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	「北九州市職員の次世代育成支援プログラム」の推進						掲載ページ		
							33		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	総務企画局
		4,161 千円	千円	4,131 千円	千円	施策名	働き方の見直し	担当課	女性活躍推進課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	市職員が、自らの職務を積極的に果たしつつ、人生の各段階に応じて、仕事と家庭や地域社会における様々な活動を融和させ、ワークとライフの双方を充実させることができる職場を実現します。これにより、職員の意欲を高め、能力を最大限に引き出すとともに、多様な経験を持つ職員の視点を政策決定に取り入れ、市役所の政策力を高めます。	活動実績	職員のワーク・ライフ・バランスの実現を目指し、係長職以上を対象とした「ワーク・ライフ・バランス研修」や「ワーク・ライフ・バランス推進月間」を実施したほか、両立支援を図るため、「パパママ応援～子育て＆仕事サポート研修」を実施しました。
活動計画	「北九州市職員の次世代育成支援プログラム」に基づき、職員のワーク・ライフ・バランスの実現をめざし、意識改革・組織風土改革や仕事と私生活のバランスがとれる職場づくりを進めるため、ワーク・ライフ・バランス研修やワーク・ライフ・バランス推進月間の取組みを実施します。なお、研修の実施については、専門性のある民間事業者に一括委託することで実効性と効率性を高めます。			

活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	ワーク・ライフ・バランスが取れていると感じる職員の割合	職員全体でワーク・ライフ・バランスがどの程度実現できているかを、20年8月実施の職員アンケート結果(69.4%)を基準に、25年度までに85%と設定していました(25年度アンケート実施)。当指標は引き続き、「女性活躍推進アクションプラン第2期計画」にて、30年度まで実施します。 (最終目標と目標年度) 85%(平成30年度)	71.6 %	85 %	— %	大変順調
男性職員の育児休業等取得率		6.1 %	20 %	7.5 %	順調	順調
女性職員だけでなく男性職員も子育てしやすい環境づくりを推進するため、国の行動指針を踏まえ、26年度までに10%と設定していました。当指標は引き続き、次期計画である「北九州市職員ダイバーシティ推進プログラム」にて、31年度までに20%と設定します。 (最終目標と目標年度) 20%(平成31年度)				37.5 %	やや遅れ 遅れ	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成26年度は階層別研修やワーク・ライフ・バランス推進月間の実施等、意識・組織風土改革を継続的に行うとともに、ノー残業マンスの拡大実施やワーク・ライフ・バランス実践モデル部署の設置など、働き方の見直し及びワーク・ライフ・バランス実践に向けた新たな取組みに着手しました。また、育休中の職員等を対象とした両立支援研修や両立支援制度の周知徹底など、次世代育成支援にかかる取組みを進めました。その結果、活動指標の数値は目標には及ばなかったものの、前年度より上昇していることから、成果状況は順調と評価しました(目標年度を延長したうえで、更に高い目標値を設定)。
	【経済性】 【効率性】 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	研修の企画・運営業務等について、平成26年度は専門性を有する民間事業者への関連業務と合わせて一括委託し、研修事業等を体系的・計画的に実施することで、各事業相互の連動による実効性と業務の効率化を図りました。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

本プログラムの策定根拠である「次世代育成支援対策推進法」(H26年度までの時限立法)が10年延長されたことに伴い、平成26年度は、これまでの取組みの成果や現状を分析・検証し、それらを踏まえ新たに、第三期特定事業主行動計画「北九州市職員ダイバーシティ推進プログラム」(計画期間: H27~31年度)を策定しました。平成27年度は、当該計画にもとづき、すべての職員のワーク・ライフ・バランス実現に向けた取組みを着実に実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	有資格業者の登録における社会的責任・社会貢献の評価						掲載ページ		
							33		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	契約室
		0	千円	0	千円	施策名	働き方の見直し	担当課	管理課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	地元企業のワーク・ライフ・バランス推進等の取組を積極的に評価するため、入札参加資格業者の格付における主観点の評価項目の一つとして「子育て支援・男女共同参画」を設け、要件を満たす場合に加点します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	市入札参加資格業者のうち、ワーク・ライフ・バランス等の推進を行っている地元企業の増加を目標とします。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	市の入札参加資格業者（物品等供給業者）に対する評価対象業者数	72 社	前年度以上	66 社	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	市の入札参加資格業者（物品等供給業者）のうち、ワーク・ライフ・バランス等の推進を行っている地元企業の毎年度の増加を目標にしています。 （最終目標と最終年度）			91.7 %			
	市の入札参加資格業者（建設工事業業者）に対する評価対象業者数	136 社	前年度以上	137	順調 やや遅れ	順調	
市の入札参加資格業者（建設工事業業者）のうち、ワーク・ライフ・バランス等の推進を行っている地元企業の毎年度の増加を目標にしています。 （最終目標と最終年度）	100.7 %			遅れ			

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	物品等供給業者及び建設工事業業者ともに評価対象企業数はほぼ前年度並みで、ワーク・ライフ・バランス等の推進に一定の寄与はできていると考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	コストをかけることなく、効率的に実施しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
地元企業のワーク・ライフ・バランス等の推進を契約制度の面からも支援するため、引き続き加点制度を実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	総合評価落札方式						掲載ページ		
							33		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	技術監理室
		0	千円	0	千円	施策名	働き方の見直し	担当課	技術企画課

【Plan】計画 →

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	<p>総合評価落札方式とは、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」に基づき、工事の品質を確保するため、価格だけでなく、価格以外の企業の技術力等も含めて総合的に評価し、落札者を決定する発注方式です。本市の総合評価では、価格以外の評価項目の一つとして「子育て支援・男女協同参画」の取り組みを設定し、以下の要件を満たす場合は加点を行なっています。</p> <p>①平成14年度以降、子育てと仕事の両立に向けた北九州市の表彰を受けた者（北九州市ワーク・ライフバランス表彰、子育てしやすい環境づくりを進める企業・団体表彰、男女協働実践企業表彰）</p> <p>②次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の認定や届出の受理をされた者</p>	活動実績	計画のとおり、事業を実施しました。
	活動計画	評価項目として「子育て支援・男女協同参画」の取り組みを引続き設定し、総合評価落札方式を継続します。		

活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
		総合評価方式の導入				
	評価項目として「子育て支援・男女協同参画」の取り組みを設定し、総合評価落札方式を実施します。 （最終目標と最終年度）	—	—	—	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
					順調	順調
					やや遅れ	
					遅れ	

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	総合評価落札方式を採用した公共工事の落札者の決定にあたり「子育て支援・男女協同参画」の取り組みを直接評価することから、企業のワーク・ライフ・バランスを推進するアピール度は高く、本事業は有効であると考えています。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	コストが不要で事業を実施できることから、経済性は高いと考えています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

コストが不要で事業が実施でき、かつ、企業のワーク・ライフ・バランスの推進に寄与できることから、当面、同様の内容で事業を継続します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	福利厚生の実践に向けた企業等への広報・啓発						掲載ページ		
							33		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	産業経済局
		0	千円	0	千円	施策名	働き方の見直し	担当課	雇用政策課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	子育て中の社員等に対する福利厚生の実践について、企業等の主体的な取り組みを支援する国の各種助成制度の内容を紹介し、活用を促進します。			活動実績	活動結果は、下記のとおりです。	
活動計画	本市の情報サイト等を活用し、各種支援制度を紹介します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	ホームページへのアクセス件数	751,407 件	-	942,378 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	当課の運営するホームページ「北九州しごと☆まるごと情報局」を活用し、広報・啓発活動を行います。 （最終目標と最終年度）					順調	
					やや遅れ	順調	
（最終目標と最終年度）				遅れ			

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 国の各種制度の情報を掲載したホームページのアクセス件数が増加したことに加え、区役所などにパンフレットの設置を行うなど広報を行ったことから順調としました。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 既存ホームページの活用や区役所へのパンフレット設置など、無料で実施でき、かつ効果の大きい手法を用いています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
引き続き、本市の情報サイト等を活用し、各種支援制度を紹介します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	事業主に対する公的助成金活用促進						掲載ページ		
							34		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	産業経済局
		0	千円	0	千円	施策名	働き方の見直し	担当課	雇用政策課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	関係機関と連携し、雇用・労働情勢、労働時間短縮、長期休暇取得等の周知・PRを行うとともに、助成金等について紹介します。		活動実績	活動結果は、下記のとおりです。		
活動計画	本市の情報サイト等を活用し、各種制度について紹介します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	ホームページへのアクセス件数		751,407 件	-	942,378 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	当課の運営するホームページ「北九州しごと☆まるごと情報局」を活用し、各種制度の紹介を行います。 （最終目標と最終年度）						
						順調	順調
（最終目標と最終年度）					やや遅れ		
					遅れ		

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 国の各種制度の情報を掲載したホームページのアクセス件数が増加したことに加え、区役所などにパンフレットの設置を行うなど広報を行ったことから順調としました。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 既存ホームページの活用や区役所へのパンフレット設置など、無料で実施でき、かつ効果の大きい手法を用いています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
引き続き、本市の情報サイト等を活用し、各種支援制度を紹介します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	家族経営協定の推進						掲載ページ
							34
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	産業経済局
		0 千円	0 千円	施策名	働き方の見直し	担当課	農林課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	農家の意識改革を進めるため、休日・給料や仕事の分担などを定める家族経営協定制度の普及・啓発を図ります。			活動実績	農業生産者が集まる会議等で啓発を行いました。		
活動計画	農業生産者が集まる場にて啓発を行います。							
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) <small>(上段: 指標名 下段: 指標の考え方)</small>	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】		
	家族経営協定締結数(延べ数)	61 件	68 件	67 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	家族経営協定は、女性や農業後継者が経営者の一員とし、農業経営に取り組んでいけるよう締結する契約であるため、指標として適当であると考えます。 <small>(最終目標と最終年度) 平成26年度 68件の締結</small>			98.5 %				
					順調	順調		
<small>(最終目標と最終年度)</small>				やや遅れ				

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析 「経済性」 「効率性」 の分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 家族経営協定締結数(累計)は、67件となっていて、H26年度は6件増加しました。目標をおおむね達成したので、順調としました。家族経営協定は、女性や農業後継者が経営者の一員とし、農業経営に取り組んでいけるよう締結する契約であるため、引き続き制度の普及、啓発を図りたいと考えています。 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 制度の普及には継続実施が重要であると考えています。長期的な視点をもって事業を実施していきたいと考えます。制度の普及のため今後ともあらゆる機会を利用して啓発していきたいと考えています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
本市の農業の振興のため、経営現状と労働実態を改善することは必須です。その中でも家族間の労働条件の整備は不可欠であると考えています。そのため、今後も事業の推進が必要であると考えています。また、農業生産者が集まる場にて、積極的に啓発活動を行いたいと考えています。